



広陵町

No.119



令和4年11月1日

議会だより



最後の運動会みんながんばったよ 広陵西幼稚園

決算を審査 何に使ったの？

目次

P.2	議会News
P.3	地域のつながり
P.4	決算審査
P.8	臨時会・定例会
P.12	町政を問う 一般質問
P.26	委員会の窓
P.28	編集後記

議会 News ニュース

兵庫県広域防災センター・しあわせの村視察研修

7月21日(木)、「兵庫県広域防災センター」と「神戸市のしあわせの村」の現地視察に伺いました。防災センターは災害時における救援物資の集積・配送機能や、災害応急活動要員の駐屯・宿営機能を備えた県全域をカバーする広域防災拠点であり、平常時は消防の訓練や研修も行える施設です。三木総合防災公園内の陸上競技場は備蓄倉庫にもなっており、毛布や非常用食料等の被災者用物資や、救助用機材が備蓄されていました。



しあわせの村は、みんなを社会の一員として取り込む社会的包摂を目指す施設で、障がい者の就労施設や高齢者施設、さらに若手、ファミリーが楽しめるレジャー・スポーツ施設も備えており、すべての市民が楽しめて、交流ができます。視察では、足の不自由な方や目の不自由な方の体験をさせていただきました。どちらの施設も規模は大きいですが、学びが多い視察となりました。



王寺町立義務教育学校を視察!

8月18日(木)、王寺北義務教育学校の現地視察に伺いました。王寺町では、今年度5つの小中学校を統合し、王寺北義務教育学校、王寺南義務教育学校として9年間の一貫した義務教育の提供に取り組んでいます。

視察では、教育長や担当者から、9年教育のメリットやこの4月からの実績についてご説明いた

いた後、新校舎を案内いただきました。王寺町立義務教育学校では、教育課程を4年・3年・2年と分けてあり、発達段階に沿った適切な指導が可能とのことでした。新校舎では、階段や教室などに県産木材が使用されており、木の温もりを感じることができました。また、児童生徒と地域住民が交流できるスペースもありました。



第17回

地域のつながり

町内で活動している団体やサークルを紹介します。(活動団体は、営利活動を目的としない公共性・公益性が高いボランティア的な団体を掲載しています。)

有償ボランティア

保育サポート ほっとハウス

保育サポートほっとハウスは、平成13年4月に発足しました。町の子育て講座を受講して、何か子育て支援ができないかと考え、メンバーを募り活動を始めました。

最初は、サークル活動の手助けなどのお手伝いから始まり、以前に、県内で、小学低学年の児童が下校途中で誘拐され亡くなるという悲惨な事件を契機に、見守りや子育ての重要性が見直されたことにより、私たちも積極的に活動を行い、現在に至っています。

コロナ禍で、活動を一部制限していますが、これからも、子育て支援活動を続けていこうと思っています。

活動内容

- ・ P T A活動時の託児や各種イベント時の託児
- ※活動場所は、広陵町、香芝市

問合せ先

広陵町社会福祉協議会

☎0745-55-8300

保育サポートほっとハウス

代表者 一川 まつえ

TEL 0745-56-3890

FAX 0745-56-3890



歳出
総額

149億9,495万円

決算
審査

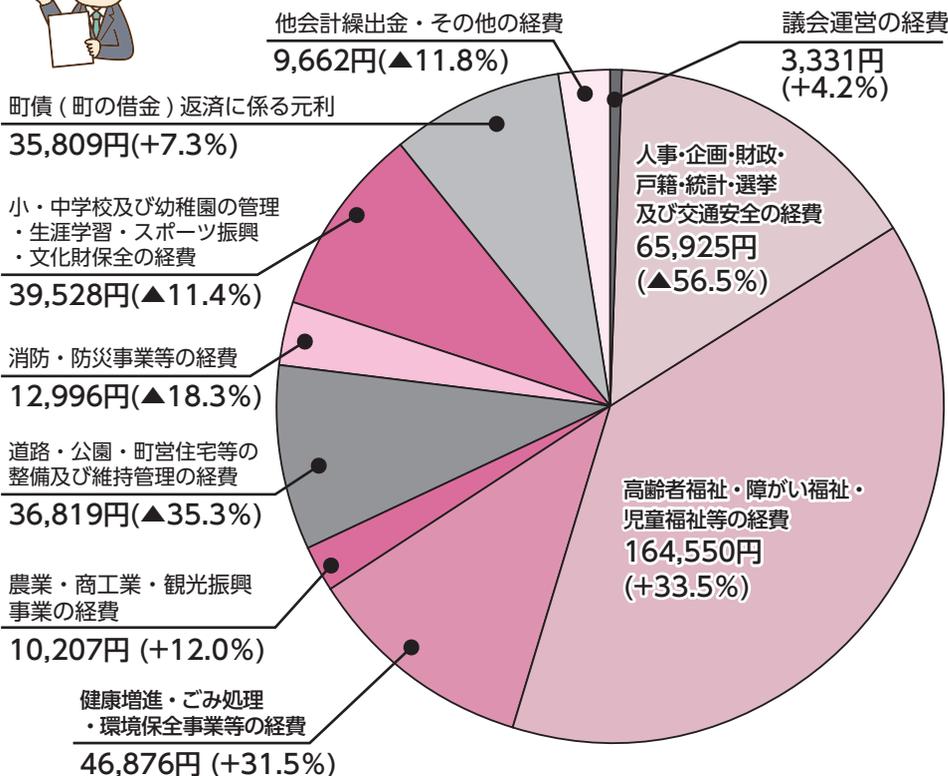
徹底チェック
何に使ったの？

つぎのように使われました

令和4年3月31日現在の人口(35,224人)で計算すると

町民1人当たり **425,703円**

check



令和3年度決算



どう活かされた私たちの税金



議会が注目する主な事業!



▲西校区認定こども園完成予定図



▲あすなるクラブ新校舎



▲竹取公園滑り台



▲新型コロナウイルスワクチン接種

一般会計	
議会費	1億1,734万円
総務費	23億2,214万円
民生費	57億9,610万円
衛生費	16億5,115万円
農商工費	3億5,954万円
土木費	12億9,693万円
消防費	4億5,778万円
教育費	13億9,232万円
公債費	12億6,135万円
その他 (災害復旧費・諸支出金)	3億4,030万円

一般会計

歳入総額 155億4,930万円

どこからお金が入ったの？

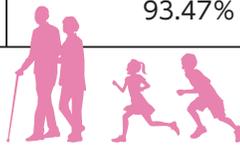
皆さまから納められた町民税、固定資産税、軽自動車税など
58億9,950万円 [自主財源]
 国や県から割り当てられた補助金や交付金
96億4,980万円 [依存財源]

歳入歳出差引残高 5億5,435万円
 繰越明許費 8,868万円
 事故繰越し 561万円
実質収支額 4億6,006万円

(繰越明許費)とは・・・年度内に終わることのできない事業を、次年度に繰り越す経費

町税や使用料などの収納状況

項目	収入額	収納率(現年)
町民税	22億9,877万円	個人 99.73% 法人 99.47%
固定資産税	16億2,278万円	99.72%
軽自動車税	9,078万円	環境性能割 100% 種別割 99.86%
たばこ税	1億7,587万円	100%
住宅使用料	943万円	93.47%



財政健全化判断比率

比率名	令和3年度
実質赤字比率 一般会計の赤字の割合 (13.66%以下)	-
連結実質赤字比率 全ての会計の実質赤字の割合 (18.66%以下)	-
実質公債費比率 借金返済額の割合 (25.0%以下)	8.1%
将来負担比率 将来負担すべき実質的な負債の割合 (350.0%以下)	29.0%

※()内の基準を超えると財政上の制限が掛かります。
 ※赤字額がないため、実質赤字比率と連結実質赤字比率は「-」表示となります。

各特別会計の決算状況

特別会計名	歳入	歳出
国民健康保険	35億3,150万円	35億1,389万円
後期高齢者医療	4億5,574万円	4億5,499万円
介護保険(保険事業)	25億6,505万円	25億4,222万円
介護サービス事業勘定	1,727万円	1,629万円
墓地事業	1,880万円	1,880万円
学校給食	3億389万円	3億389万円

会計名	収入	支出
水道事業(収益的収支のみ)	8億4,562万円	8億5,003万円
下水道事業(収益的収支のみ)	11億1,211万円	10億1,089万円

政務活動費について

広陵町議会では、議員一人あたり年間12万円を上限として年度末に領収書等を添付し、使用分だけ精算する**後払い**となっております。
 令和3年度の実績は699,466円。



決算状況の詳細は
 広報「こうりょう」
 10月1日号に掲載

QRコード



ここが聞きたい

決算審査

質疑

特別委員会

歳入

問 失業や収入が絶たれた人への援助は。

答 社会福祉課が、生活が困窮している方に対して、各種支援を行っている。

歳出

総務費

企業立地促進奨励金

問 町外企業の割合を増やしたほうが、増収を見込めると思うが、町内外の区分はしない方向か。

答 企業誘致については、町内外分け隔てなく誘致を進めていきたいと考えている。

生活支援特別定額給付金事業

問 給付できた割合は。

答 13, 384世帯に給付し、給付率は99.07%である。

民生費

病後児保育事業

問 委託料変更の協議は、どうなったのか。

答 令和4年度当初から、国庫補助基準額と同額に変更することになった。

西校区認定こども園整備事業

問 もし、公設公営の場合の町財政負担額はどの程度か。

答 公営の場合の町負担額は、工事費7億9,000万円。運営費は、年間1億2,700万円。

衛生費

新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業

問 この事業の委託料の内訳は。

答 会場設営委託料、ワクチン接種委託料、電算関係、医療廃棄物処理委託料。

農商工費

タウンプロモーション事業

問 事業委託料の内訳は。

答 かつした博物館のリニューアル費用。

土木費

箸尾準工業地区道路整備事業

問 道路測量・設計委託料の具体的な用途は。

答 地質調査、B地区の工事詳細設計及びそれに関する道路整備設計費。

消防費

防災情報一括配信システム

問 庁舎や職員が被災した時の機能は。

答 このシステムは、住民が町からの伝達手段を選択できるもので、遠隔操作も可能である。



教育費

いじめ防止対策推進事業

問 SNSでの相談が必須と思うが、町の考えは。

答 現在、町ホームページに県の相談へのリンクがあるが、今後、研究し、できるものは対応していきたい。

中央公民館是正改修等修正設計委託料

問 この委託料の内容は。

答 最低限備え付けていなければならぬものに限ったの委託料。

国民健康保険特別会計

収納率

問 令和2年度と令和3年度の収納率の変化について。

答 令和2年度は、現年度分だけ。令和3年度から滞納繰越分も算定に含んでいる。

収納対策マニュアル

問 策定の現況と差押え等の周知はどうしているのか。

答 収納については、個別対応のため、県マニュアルには沿っていない。差押えの周知は、対象者に説明している。

後期高齢者医療特別会計

滞納繰越分の徴収率

問 令和3年度に徴収率が上がっている要因は。

答 令和2年度は、コロナによる徴収猶予制度があったが、令和3年度は猶予がなく、その分納付が進んだ。

介護保険特別会計

介護保険料

問 他市町村と比べて、どれくらいか。

答 国や県の平均額と比較しても、安い。

墓地事業特別会計

新規購入区画数

問 未整備区画について、今後の計画は。

答 返還数が増えているので、整備する予定はない。

学校給食特別会計

学校給食物資納入業者

問 全小学校で、肉・鶏肉類の納入業者が、1社のみとなっている理由と今後の対応については。

答 他の業者が店を閉められ、現在は1社のみとなっている。今後、入札等も検討していく。

水道事業会計

有収率

問 低下している要因及び近隣との比較は。

答 馬見南地区の工事のため低下。近隣と比較して高いと認識している。

下水道事業会計

下水道の接続と助成制度

問 下水道接続が困難な場所の有無とある場合の対策。

答 接続困難な場所は、ある。助成制度はない。

決算審査特別委員会



委員長	岡本 晃隆
副委員長	笹井 由明
委員	坂野 佳宏
委員	吉村 裕之
委員	吉村 眞弓美
委員	青木 義勝
委員	八尾 春雄

令和4年7月25日議会提出議案

議案番号	件名	概要
議案第55号	令和4年度広陵町一般会計補正予算(第5号)	訴訟行為委任事務委託料
議案第56号	箸尾準工業地区道路整備事業の受委託に関する広陵町土地開発公社との協定について	箸尾準工業地区道路整備事業に関し、広陵町土地開発公社と協定締結
議案第57号	平尾公民館建設工事に係る請負契約の締結について	平尾公民館建設工事を(株)米杉建設と請負契約
議案第58号	訴えの提起について	町営住宅に居住する建設会社社長に対し明渡請求を行ったが、期日までに退去が確認できなかったため

令和4年8月23日議会提出議案

議案番号	件名	概要
議案第59号	令和4年度広陵町一般会計補正予算(第6号)	中央公民館再整備検討基礎調査業務委託料及び地域振興券5,000円を全世帯に配布
議案第60号	広瀬川調整池整備工事(1工区)に係る請負契約の締結について	内水氾濫を防ぐための工事の請負契約締結

令和4年9月議会提出議案

議案番号	件名	概要
報告第10号	広陵町ごみ減量等推進審議会条例の一部を改正する条例の専決処分報告について	引用条項の整理
報告第11号	令和3年度広陵町財政健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	すべて基準となる指数以下で資金不足なし
報告第12号	令和4年度広陵町一般会計補正予算(第4号)の専決処分報告について	令和4年度住民税非課税世帯に10万円の現金を給付する
報告第13号	令和3年度広陵町水道事業会計継続費の精算報告について	広陵町馬見南配水本管布設替耐震設計・施工業務について報告
議案第61号	教育長の任命につき同意を求めることについて	植村佳央氏を教育長に再任(任期は令和4年10月1日から3年)
議案第62号	教育委員会の委員の任命につき同意を求めることについて	臼井有香氏を教育委員に任命(任期は令和4年10月1日から4年)
議案第63号	広陵町災害対策本部条例の一部を改正することについて	災害対策本部に部を設置できるように規定を改める
議案第64号	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正することについて	非常勤職員の育児休業等の取得要件及び取得回数制限を緩和する
議案第65号	広陵町税条例等の一部を改正することについて	住宅ローン控除の見直し・延長に伴い、対象となる居住年を令和7年まで延長する等
議案第66号	広陵町立学校設置条例の一部を改正することについて	令和5年3月31日をもって廃園する広陵西幼稚園及び広陵西第二幼稚園に係る規定を削除
議案第67号	広陵町立体育館の設置及び管理に関する条例の一部を改正することについて	体育施設の使用料を1時間当たりの金額として定め直す
議案第68号	令和4年度広陵町一般会計補正予算(第7号)	コロナウイルスワクチン接種事業費や町内幼稚園に空気清浄機購入費など計上
議案第69号	令和4年度広陵町介護保険特別会計補正予算(第1号)	前年度の精算
議案第70号	令和4年度広陵町水道事業会計補正予算(第2号)	包括委託事業における債務負担行為限度額を7,636万円から9,000万円に変更する

議案番号	件名	概要
議案第71号	令和4年度広陵町下水道事業会計補正予算(第1号)	管尾準工造成事業に伴う下水道管渠布設工事について、建設改良費1,000万円を計上。期間を令和5年度までとし、限度額を4,000万円とする。
議案第72号	令和3年度広陵町一般会計歳入歳出決算の認定について	令和3年度決算認定
議案第73号	令和3年度広陵町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	令和3年度決算認定
議案第74号	令和3年度広陵町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	令和3年度決算認定
議案第75号	令和3年度広陵町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	令和3年度決算認定
議案第76号	令和3年度広陵町墓地事業特別会計歳入歳出決算の認定について	令和3年度決算認定
議案第77号	令和3年度広陵町学校給食特別会計歳入歳出決算の認定について	令和3年度決算認定
議案第78号	令和3年度広陵町水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	令和3年度決算認定
議案第79号	令和3年度広陵町下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	令和3年度決算認定
議員提出議案第8号	決算審査特別委員会設置に関する決議について	決算審査のため7名で委員会を設置する
議員提出議案第9号	安倍元首相の国葬の中止を求める意見書について	安倍元首相の国葬の中止を求める
議員提出議案第10号	子ども医療費助成制度に係る現物給付方式による拡充等を求める意見書について	(下記に全文紹介します)

子ども医療費助成制度に係る現物給付方式による拡充等を求める意見書

我が国や我が地域の未来を担う子どもたちにとって、どこの地域であっても、また、いかなる家計の状況であっても、いつでも安心して社会保障制度の根幹の一つである医療を受診できることは重要であり、子ども医療費助成制度や乳幼児医療費助成制度の拡充は地方自治体がリードしてきたものである。

平成30年度より、就学前の乳幼児医療については、国民健康保険の国庫負担金等の減額調整措置、いわゆるペナルティーが廃止されたことから、奈良県では令和元年8月診療分から未就学児を対象に現物給付方式が導入され、町民の窓口負担が大きく軽減されることになり、またペナルティーを課す要因とされている受診の増加及び医療費の増加については特段の有意性は確認されていない。

一方で、就学後の子ども医療については現物給付方式により助成した場合、いまだペナルティーが課されている現状である。

このペナルティーを課している国民健康保険の国庫負担金等の算定に関する政令は、昭和34年3月24日に公布され、63年も経ている政令が根拠となっている。当時の大卒初任給(公務員)は約1万円、高卒初任給(公務員)は約6,700円程度であり、世帯状況については専業主婦層が多くを占め、我が国において1億人突破前の爆発的に人口が伸びている時代に施行されている。

こういった時代と同一視できるものではなく、現下は人口減少・少子化時代であるとともに、独り親家庭や障害児の支援、貧困対策と物価高騰対策等による子育て支援は急務である。今こそ国と地方が協力して、この問題に総力を挙げて取り組まなければならない。

よって、国においては、子どもの健やかな成長及び子どものある家庭における子育てに対する支援をするために、こども家庭庁設置に向けて取り組まれていることから、この設置の趣旨を踏まえ、速やかに以下の項目について実現するよう強く要望する。

記

- 1 就学後の子ども医療費助成制度に係る国民健康保険の国庫負担金等の減額調整措置を廃止すること。
- 2 地方自治体の取組を尊重し、子ども医療費助成を国の制度として早期に実施すること。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

令和4年9月26日

奈良県広陵町議会

衆議院議長 細田 博之 様
 参議院議長 尾辻 秀久 様
 内閣総理大臣 岸田 文雄 様
 総務大臣 寺田 稔 様
 厚生労働大臣 加藤 勝信 様
 こども政策担当大臣 小倉 将信 様

令和4年9月定例会 議案採決状況一覧 (○賛成 ×反対)

※採決が分かれた議題のみを載せております。

議案	坂口友良	堀川季延	千北慎也	山田美津代	笹井由明	山村美咲子	坂野佳宏	谷 禎一	吉村裕之	吉村眞弓美	岡本晃隆	青木義勝	岡橋庄次	八尾春雄	議決結果
議案第67号	○	○	○	×	○	○	○	○	議長は採決に加わりません。	○	○	○	○	×	原案可決
議案第72号	○	○	○	×	○	○	○	○		○	○	○	○	×	認 定
議案第73号	○	○	○	×	○	○	○	○		○	○	○	○	×	認 定
議案第74号	○	○	○	×	○	○	○	○		○	○	○	○	×	認 定
議案第75号	○	○	○	×	○	○	○	○		○	○	○	○	×	認 定
議案第77号	○	○	○	×	○	○	○	○		○	○	○	○	×	認 定
議案第78号	○	○	○	○	○	○	○	×		○	○	○	○	○	原案可決及び認定
議員提出議案第9号	○	×	×	○	×	×	×	○	×	×	○	×	○	否 決	

<p style="text-align: center;">反対</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 3年目を迎えるコロナ禍において、適切な収入財源確保に努め、ワクチン接種事 	<p style="text-align: center;">賛成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 広陵町の体育館使用料は、20年近く見直しが行われていない。そのため維持管理経費の多くを税金で賄っている。体育館を利用する人と、利用しない人との負担の公平性を確保するという観点から、住民の代表の方が参加する形で、約1年かけて7回の検討委員会が実施され答申が提出された。幅広い住民を対象に減免策もとられており、一定の配慮が評価できる。 	<p style="text-align: center;">反対</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 値上げや有料化の根拠に「受益者負担の原則」を持ち込み、施設利用者と非利用者の分断をはかろうとするものだ。地方自治法にこのような規定はない。これまで適正な料金で頑張ってきたものである。
<p>議案第72号</p> <p>令和3年度広陵町一般会計歳入歳出決算の認定について</p>	<p>議案第67号</p> <p>広陵町立体育館の設置及び管理に関する条例の一部を改正することについて</p>	

<p style="text-align: center;">反対</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成20年から開始したこの医療差別制度は、当初「激変緩和措置」を看板にしてきたが、この10月から医療費窓口2倍化を強行する。「本性を露わにした」改悪が進行している。 	<p style="text-align: center;">賛成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和6年度県単一標準保険料率の導入に向け、町においては令和3年度の保険料率の改定は据置かれた。一方、特定検診、疾病の早期発見など被保険者の健康保持について積極的な取組が伺える。 	<p style="text-align: center;">賛成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今でも高額な国保税を、さらに引き上げる県単位化を前提とし、広陵町独自の申請減免制度の令和5年度廃止を明言した。他自治体では値上げを緩和するため一般会計からの繰り入れ(全国で700億円超)を実施していることを学ぶ必要がある。
<p>議案第74号</p> <p>令和3年度広陵町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について</p>	<p>議案第73号</p> <p>令和3年度広陵町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について</p>	<p>議案第73号</p> <p>令和3年度広陵町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について</p>

<p style="text-align: center;">賛成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住み慣れた地域で元気で暮らし続けるために、KEEPを中心に地域の健康づくりに取り組みながら、通いの場を増やしている。包括的な支援の充実に取り組まれているため賛成。 	<p style="text-align: center;">反対</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年7月まで、預金高が2,000万円以下なら受けられた減免制度が、預金高約1,500万円を超えると受けられなくなる(住民負担急増)改悪があった。受け取った請求書にびっくりだ。 	<p style="text-align: center;">賛成</p> <p style="text-align: center;">議案第75号 令和3年度広陵町介護保険 険特別会計歳入歳出決算 の認定について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・決算での保険料の収納状況はじめ各数値は、概ね適正である。75歳以上の人口比率が初めて15%を超え、今後も後期高齢者の医療費は増額するので、現役世代の財源の負担割合4割の負担額を抑制して、国民皆保険制度を持続可能とするため、一定以上の所得者の応分の負担増は理解する。10月からの窓口負担が2割となる方には、負担を抑える様々な配慮措置が設けられるので、議案第74号令和3年度広陵町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定に賛成する。 	<p style="text-align: center;">賛成</p> <p style="text-align: center;">議案第77号 令和3年度広陵町学校給 食特別会計歳入歳出決算 の認定について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校も中学校も民間委託している。受託している株式会社は、公立給食には不要な「会社の利益」をここで生み出すため
---	---	--	--

<p style="text-align: center;">賛成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガス事故の補償等に多額の費用を要したが、町が責任を果たすための正当な支出である。また反対者が問題を指摘するなら、あいだの日に担当部局とやり取りしてその解決に当たるべきである。 ・南郷浄水場跡地処分においては、ガス発生事故による処理経費の増大により、健全経営比率は下降したものの単年度一過性の現象と伺える。追加設計、工事内容についても適正に処理されている。県域水道一体化に向けては、充分なる検討を加えられたい。 	<p style="text-align: center;">反対</p> <p style="text-align: center;">議案第78号 令和3年度広陵町水道事 業会計剰余金の処分及び 決算の認定について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旧水道局解体売却事業は全額町負担で国や県の監査がなく慎重を要す。再三の埋設物撤去費がかさむ。建築工事であるが、道路工事の比率で監理費計上は多額で整合性取れない。管尾造成工事や他の公共事業にも注意を要す。 	<p style="text-align: center;">賛成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・反対討論の借地料は契約見直しまで待つべきである。 ・民間委託の弊害は財政スリム化のために決定したものであり、質の低下になっていない。美味しくてバランスのとれた給食であり、何ら支障なく賛成とする。 	<p style="text-align: center;">反対</p> <ul style="list-style-type: none"> ・に活動している。町の直営に戻すべきである。一方、香芝市が負担すべき土地使用料(30年で1億円と町が説明している)を債権放棄している欠陥決算である。
---	--	--	---

<p style="text-align: center;">賛成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私は、一般庶民の感覚と私の主観で国葬として行うのは反対である。賛成か反対かと世論が二分し、反対者の方が多いとの報道の状況で、あえて強行すれば、たかが国葬の論議で国民の心情の分断を招けば、将来に多面的な禍根を残すと思われるので、意見書に賛成。 ・国民の半数以上が反対しているのに国費を使つての葬儀は許せない。物価高騰対策に税金を使うべき、また憲法14条の「法の下の平等」に違反している。閣議決定などで決めるべきではない。 	<p style="text-align: center;">反対</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いわゆる国葬を内閣による閣議決定を根拠として、国の儀式として行うことが行政権の範囲であることは、内閣府の所掌事務について定めた、内閣府設置法第4条第3項第33号に「国の儀式並びに内閣の行う儀式及び行事に関する事務に關すること」と定められていることから明らか。 ・また、首相自ら申意の強制をしない旨答弁しており、意見書の内容には不適當な点があるため反対。 ・実施について賛否が二分されており、今後法整備も必要と思うが、当該意見書においては、時期的に実効性が乏しい。 	<p style="text-align: center;">議員提出 議案第9号 安倍元首相の国葬の中止 を求める意見書について</p>
--	---	---

町政を 問う



議長 **吉村 裕之**

一般 質問

坂口 友良 議員 (13 ページ)

- 今年4月の学力調査結果をどう見るか
- 社協の移動支援活動への支援はどうか
- これからの創業者育成活動への支援を

山田 美津代 議員 (21 ページ)

- コロナ禍で疲弊している町民への支援を
- 「公共交通計画」に乗り合いタクシーを
- 高齢化による難聴者への補聴器支援を

岡橋 庄次 議員 (14 ページ)

- 広陵放課後塾について
- 全国学力・体力テストの結果について

千北 慎也 議員 (22 ページ)

- 公共施設相互利用の課題と今後のビジョンは
- オーガニックビレッジで給食の充実を

谷 禎一 議員 (15 ページ)

- 役所の仕事の評価はどうしているのか
- 旧水道局跡地売却の最終収支は
- 中央公民館は建て替えるのか

坂野 佳宏 議員 (23 ページ)

- 水道事業の企業統合案の周知を

岡本 晃隆 議員 (16 ページ)

- 新型コロナウイルスへの対応について
- 安心な子育ての町づくり

山村 美咲子 議員 (24 ページ)

- 困難を抱える女性たちへの支援について
- 「地域猫活動」への理解促進・支援の充実を
- 広陵町 MaaS 構築について

吉村 眞弓美 議員 (17 ページ)

- 骨髄バンク推進月間
- 粗大ごみ持ち出しサービスの実施を
- 10月から始まる男性産産休

青木 義勝 議員 (25 ページ)

- 農業研修センターを避難所併設の施設に
- 県道桜井田原本王寺線の早期整備を県に要望

笹井 由明 議員 (18 ページ)

- 空家対策について
- 成年後見制度と実情について

一般質問を9月9日～13日に行いました。
 なお、質問内容及び答弁内容については、紙面の都合上、要約掲載となっておりますので、詳細につきましてはインターネット中継、または会議録をご覧ください。

堀川 季延 議員 (19 ページ)

- 実質化された人・農地プラン公表後の取組は

会議録は、12月上旬に町役場及び町施設のサービスカウンターに配置し、広陵町ホームページにも掲載する予定です。

八尾 春雄 議員 (20 ページ)

- 旧統一協会と広陵町(長)との関係について
- 投票率を高めるために
- 学力テスト及び学習状況調査について

①答弁者の「理事者」との記載は、町長、副町長、教育長、関係部次長の発言を要約して掲載する場合に用いています。





ともよし さかぐち
坂口 友良

教育体制

今年4月の学力調査結果をどう見るか

問 先生方は、本来業務の勉強をはじめ、生活指導や生徒指導まで多忙な毎日である。教育委員会には臨床心理士など職員を配置し、児童生徒の不安や心の健康に対応してもらっている。また、学力向上推進支援事業の指導員など総力体制もできており期待できるが、調査結果から見る今後の体制はどうか。

教育長 小学校では、国語は全国・県平均を上回るも算数・理科は県平均より上回るが、全国

平均よりは下回った。中学校は国語・数学・理科・全て県・全国平均を上回った。「学力向上推進プロジェクト会議」の成果が向上してきた。

公共交通

社協の移動支援活動への支援はどうか

問 社協の令和4年度活動方針の中で移動支援を始めると聞き、大いに期待している。循環バスだけではルートがない、時間が合わないという問題点が指摘されていたので、本計画でパーフェクトな支援対策が取れると思う。町の支援も必要だし、私もボランティアで協力していくので考えはどうか。

町長

一番の課題は、利用者及び運転者の安全確認であり、万一事故の場合、補償対応など十分にできるかということである。既に公共交通との連携も図った上で高齢者などの交通弱者の移動手段を確保したい。

産業振興策

これからの創業育成活動への支援を

問 本町ではすでに事業を行っている方に対しての支援は充実しているが、これから創業する方への支援にも力を入れ、新しい発想で広陵町に活気を与える産業の育成を図りたい。創業にあたっての支

援策や補助金制度について周知を図り産業振興施策を充実させたいが考えはどうか。

町長

本町では、ワンストップでの相談窓口や創業塾などの支援を実施している。創業塾を修了された方には町が特定創業支援等事業者と認定し、創業促進補助金をはじめ法人登録免許税の軽減及び保証の特例を受けることができる。



おかはし しょうじ
岡橋 庄次

学校教育

広陵放課後塾について

問 広陵放課後塾の実施経緯と現状を踏まえて伺う。

①学力向上など、目的を遂行するには、もっと指導員を増やし、きめ細やかな余裕のある学習指導が必要ではないか。

②小学校3年生が義務教育段階で重要視されるのであれば、子どもが放課後塾に参加するよう保護者にも働きかけが必要ではないか。

教育長

①今年度は、6月から5校全てで実施しており、各校3人から5人の児童に対して

学校教育

全国学力・体力テストの結果について

1人の指導員が学習指導を行っている。指導員の確保は広陵放課後塾の核であり、充実に努める。

②3年生の保護者に広陵放課後塾の申し込み用紙配布の際には、チラシなどの資料を添付している。今年度は2年生の保護者にもアンケートで潜在的ニーズを把握しており、今後も教育活動の充実に努める。

問

①本町の小学6年生、中学3年生の学力テストの結果を伺う。

教育長

②結果検証により、一層の向上を目指しての課題と改善策を伺う。

③教育委員会では、例年上位校である石川、福井、富山などへ研修に向われたことがあるのか。

④全国体力テストや運動習慣調査の結果を受け、今後長期間続くと思われるコロナ禍においての方向性を伺う。

①小学校では、全国平均よりも国語・算数のみの合計平均結果では上回り、理科は下回っている。中学校の結果は、全国平均よりも上回り昨年より向上している。

②「学力向上推進プロジェクト会議」を開き各学校ごと

に分析する。

③以前、郡の教育長会で福井へ研修に向き、視察で得た先進的事例を校長会等で伝達研修した。

④熱中症に気を配り、スポーツのルールの工夫、場の工夫をしながら、運動を好きになることで体力向上につなげる。





谷 一 榎 よしかず
たに 谷

行政評価

役所の仕事の評価はどうしているのか

問 問題発覚の事案（前回の質問）で町は「職員の責任追及になる」「職員のやる気が失せる」と回答したが、問題点の所在や原因など明確にしなければ、同じことの繰返しや、改善ができない。

町民に信頼される行政を願う。

① 行政評価する担当課は、同僚や上司に厳しく評価できるのか。

② 責任を担当一人に押し付ける組織となっていないのか。

理事者

① 総合政策課が所管し、政評

事業決算

旧水道局跡地売却の最終収支は

価は適切に行う。
② 一人の責任にすることはない。目的は町民に信頼される質の高い行政に実現が目的とされている。

問

① 既設建物を利用したシルバー人材センターへの移行が民間売却となったのはなぜ。

② 6,000万円の土地売却に町は、最終1億9,600万円の支払となった超過が多すぎる。

③ 事故後の調査費2,750万円も50%以上が仮設及び経費だが。

理事者

④ 同一建設業者に町発注の水道施設解体から事故調査、再度の埋設物撤去、民間工事の中断補償費など直接町が支払うのは誤解をまねく。

住民要望

中央公民館は建て替えるのか

① 公共財産有効活用委員会（略称）8名で決定。
② 更地にするまでの費用はどちらにしろ必要。
③ 表示が適正でない部分がある。
④ 支払い先は民間企業側の意向。

問

① 建設場所や規模など具体的に

理事者

な町長の判断が示されていない。
② 2年間12回の公民館建替検討委員会（略称）で協議されたのに、再度、公民館基礎調査業務（略称、予算300万円）は同じことの繰返しではないか。

その他質問事項

○ 菅尾準工業団地造成の経過は

① 「概ね5年をめどに基礎方針を決定し、その後早期の建て替えを目指す」が更新、改修、長寿命化など効果的な再整備を目指す。
② 建替に向かって同じことの繰返しや、後退にはならない。



おかもと てるたか
岡本 晃隆

新型コロナウィルスへの対応について

問 第7波といわれる感染者数の高止まり傾向にある状況を踏まえて、町民に向けて、コロナ対策の生活様式の継続等をお願いメッセージを発信する予定はあるか。

町長

感染予防には、基本的な感染対策の徹底が重要であると同時に、ワクチン接種も必要であると考えている。今後も、広報誌や町のホームページ等で、わかりやすい情報発信に努めていく。また、町として、コロナ対策の継続やワクチン接種へのお願いを、動画配信していくこ

とを検討している。

問 コロナ禍での生活苦を訴える相談件数は、何件か。また、実態調査を行っているか。

町長

相談件数は、7月11日以降10件。実態調査は、個人情報情報の取扱い等難しい状況だが、各種相談事業や社会福祉協議会や民生委員・児童委員等の協力も得ながら実態把握に努めていく。

子育て 安心な子育ての町づくり

問 令和5年4月に開園する畿央大学付属広陵こども園の、三者協議会のこれまでの

開催回数は。また、その内容は、広く知らされているか。

町長

三者協議会は、これまでに4回開催。その内容については、畿央大学のホームページや広陵町ホームページに掲載している。

問 説明会後の保護者の反応は。

町長

7月31日の説明会以降、保護者からの意見は寄せられていない。

問 今後、安心して子育てできる町づくりを、どのように展開していくのか。

町長

今回、保護者、法人及び町との間で、情報共有や意思疎通が不足していたこと、保護者ニーズを的確に把握できていなかったことが原因で混乱を招いたことを反省し、今後は、逐次、情報提供や説明の機会を設け、保護者ニーズに沿った事業実施に努めていく。



福祉
骨髄バンク推進
月間

問 白血病などの血液疾患に有効な治療法として、骨髄移植や末梢血(まっしょうけつ)幹細胞移植があるが、この治療法には骨髄や末梢血幹細胞を提供していただけるドナーが必要である。より多くのドナーが安心して骨髄等を提供できるように、早急な仕組みとして、骨髄移植ドナー支援事業の実施を提案する。

町長 奈良県においても、支援事業実施自治体への助成について検討が進められている。支



よしむら まゆみ
吉村 真弓美

生活
粗大ごみ持ち出しサービスの実施を

支援事業は骨髄ドナーを支援することはもちろんのこと、骨髄バンク登録者を増やす一助となることも考えられるため、実施に向けて進めてまいります。

問 お年寄りだけの世帯や障がいのある方が居住されているご家庭で、粗大ごみを一定の場所まで持ち出すことが困難であるとお声をいただいた。他の市町村では、部屋から粗大ごみを持ち出して収集する「持ち出しサービス」ということを、行っているところもある。広陵町でも、そういった制度を作っていただけないか。

町長

他市町村の取り組み事例を参考に実施できるかどうかを廃棄物担当課のみならず、高齢者担当課とも連携して研究してまいります。

男女共同参画
10月から始まる男性版産休

問 赤ちゃんが生まれた直後に父親が柔軟に育児休業(育児)を取得できるよう、「男性版産休」と呼ばれる「出生時育児休業(産後。パパ育児)」が今年10月から始まる。

今回の法改正は対象が事業者となっているが、その効果ある展開を図るためには、自治体としての支援が必要になると

考える。今回の法改正について広陵町としてどの様に受け止めているのかを伺う。

町長

本町としては、町内全ての中小企業・小規模企業に対し、実態調査を行い、改正内容の認識度や実施状況を確認してまいります。また、商工会と連携し、勉強会等の実施を考えている。





ささい よしあき
笹井 由明

生活環境

空家対策について

問

①令和4年4月1日現在の町内空家件数と今後の見通しはどうか。

②空家等対策協議会の設置からの経緯と取組成果を問う。

③放置空家についての実態と経過から対応策を問う。

町長

①平成28年度の空家実態調査では、206件と把握しているが、現在89件を認定している。また、核家族の進行により、今後も空家の数は増加するものと考えている。

②協議会は平成29年4月に設置し、空家の現状、問題点の協議から翌年3月に空家等対策計画を策定した。また、

令和2年3月空家等の適正管理に関する条例設置、翌年4月には老朽危険空家等除却補助金交付要綱を策定し、これまで5件の実績がある。

③数か年放置状態にある空家については、実態調査から、協議会において特定空家の指定も考慮しながら、条例、規則に基づき適切に対処したい。

ご指摘のお寺については、本山、檀家とも相談しながら、宗教法人解散も見据え協議会に諮っていききたい。

地域福祉

成年後見制度と実情について

問

「人生100年時代」と言われる中で、認知症や親なき後の障がい者の急増が見込まれることから、成年後見人の利用促進政策が必要と思うが、本町の実態把握と所見を問う。

町長

令和3年11月現在、奈良県家庭裁判所で管理されている本町の後見人利用者数は31名となっている。

成年後見制度、任意後見制度については、広報や町ホームページで周知するとともに、現状は平成26年2月に制定した「広陵町成年後見制度

における町長申立てに係る要綱」により運用している。

成年後見開始の審判申立て事務については、法律に関し知識経験の豊富な弁護士や司法書士に委託することが出来るよう昨年8月に要綱改正を行っている。

また、後見人等に支払う報酬の負担が困難な方への費用助成については、現在3名の利用がある。



農業振興

実質化された人
・農地プラン公
表後の取組は

問

本年3月に農業者を集め、地域ごとに懇談会が開催され地域農業の現状や課題などを話し合わせ、農業についての未来図を作成するのが「人・農地プラン」である。実質化された人農地プランが町のホームページに掲載されたが、課題に向けた解決策への取組みについてお尋ねする。

以前から地域で農地を守るためには、農地の集約と大規模な農業の展開、集団営農組織の立ち上げなどの話しをいただいている。

現在進めている百済川向地



ほりかわ 堀川 としのぶ 季延

区の特定農業振興ゾーンへの参加は、地元農家だけなのか仕組みを教えてください。また、特区制度で住宅開発が進み、農地面積が減少している。三吉地区など減少面積、減少率を聞きたい。来年の農業委員改選に向けては、委員定数や地域割当てに影響はないのか。

理事者

人・農地プランは、今の地域農業の現状を把握し、概ね5年後、10年後の地域農業の

将来方針を決定するもので、人口減少による農業者の減少や高齢化といった問題点が多く挙げられ、農地の集約化や集落営農組織の設定などを加速化することが喫緊の課題であることが明確になった。引き続き、農業関係者との意見交換を行い、集落営農組織の立ち上げや担い手の育成など支援体制を構築していく。

本町としては、百済川向地区22ヘクタールを特定農業振興ゾーンに位置づけ、今後3年間で県が実施する、農地中間管理機構関連農地整備事業による区画整理を進めていく。

都市計画法第34条第11号の区域指定による農地面積の減少は、制度が開始された平成

18年度には、町の耕作面積が584ヘクタールあったのに対し、令和3年度では501ヘクタールと83ヘクタールの減少となっている。特に、三吉地区では15ヘクタールの減少となっており、約65%が区域指定の影響となった。お尋ねの農業委員定数などには影響しないと考える。

肥料価格高騰対策事業であるが、国が示す化学肥料の低減に向けた取組みが必要で、申請方法はJ Aならけんなどの肥料販売店に申請することとなっており、具体的なスケジュールや計画については、分かり次第周知する。



はるお 春雄
やつお 八尾

旧統一協会 と広陵町(長)との関係について

問 名儀の如何にかかわらず、広陵町(社会福祉協議会・商工会など町が応援している団体を含む)は旧統一協会とどのような関係をもっているのか。

町長

町及び関連団体を含め、念のため調査したが、旧統一協会との関係は確認できなかった。よって、関係は持っていない。私自身も関係は持っていないが、住民要望を国政に届ける場合に、旧統一協会と既に関係のある国会議員に陳情する場合があった。今後も、

十分に気をつけて対応したい。

選挙 投票率を高める ために

問 参議院選挙ではエコー・マミで期日前投票を2日間実施する前進があったが、一方で一部に選挙公報が届かないとの苦情も寄せられた。今後の方針はどうか。

選挙管理委員会委員長及び理事者

選挙公報は金曜日の24時までに町内全戸に届けるため、民間業者に配布を委託している。受取確認を取っておらず、不明点もあるが、指摘が事実ならば申し訳なく感じているので改善したい。また、投票所に行く

のが困難な有権者につき具体的に援助すること、投票動向(投票区別・年齢別投票率)の提示により投票動機を分析することなど検討して対応したい。民主政治の根幹をなす選挙の投票率を引き上げるために一層努力する決意だ。



大字南郷の風景

学力テスト

学力テスト及び 学習状況調査について

問 小6及び中3全員を対象とする全国レベルのテストであり、本年4月に実施された。生徒や教員の序列化につながりかねず、成績上位県(福井)ではテストを苦にした生徒の自殺者が出て、県議会は反省と改善を示す決議を採択している。教育実践を歪める危険があるなら「受験しない」も選択の一つではないか。

教育長

他県で過熱気味となっている場合があるが、広陵町内での実施に当たっては「理解が弱い分野は何か」との視点で生徒の学習を援助するため参加しており、「受験対策授業」等も実施していない。

コロナ支援 コロナ禍で疲弊 している町民へ の支援を

問 コロナ禍で県や町からの貸し付けを借りた町民が来年1月からの返済期日が来ても返済できない状態で不安な毎日である。借り換えなどの支援策を検討すべき。

各学校や医療施設、介護施設、薬局などでの無料の検査体制を設置し、町内の医療機関のご協力を得る努力を普段からすべき。また各学校のトイレに生理用品配置を。

町長及び教育長

2年以上のコロナ禍で疲弊されていることに加え、物



やまだ みつよ
山田 美津代

公共交通

「公共交通計画」 に乗り合いタクシーを

価高騰で深刻化しているため、町内の企業に実態調査を行い、それを基に適切な支援策を検討する。無料検査は県の実施場所を利用していただく。
生理用品をトイレに設置は検討する。

問

高齢者で今後の移動に不安を感じておられる方の意見を聞くべきだが、今の計画はどこまで進みワークショップではどのような方々に検討をお願いするのか。また乗り合いタクシー実証運行実施の吉野町では200人からの住民

説明会を実施している。こんな事例を調査し町民の計画参加を促すべき。

町長

ワークショップには12名の方に参加いただきご意見を聞いている。また事業者から様々な提案を頂き参考にしてMaasを活用した新モビリティ導入を検討中。

補聴器支援

高齢化による難聴者への補聴器支援を

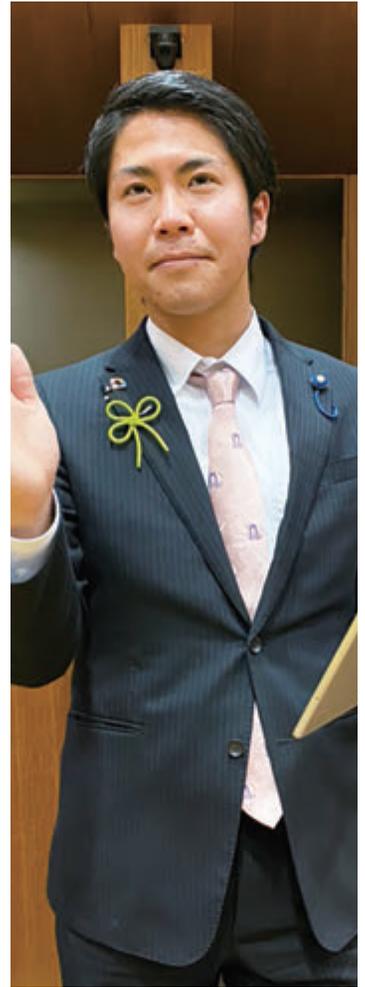
問 全国で補聴器への支援が進み三郷町や斑鳩町が2万円の支援を始めている。広陵町は後れを取っているから5万円の補助額で人数を少なく始

めてはいかがか。

高齢者難聴は放っておくと認知症が進み高齢者の労働力にも影響が及び支援が必要。50万円の予算をとることで10人の方の支援ができる。

町長

両町に確認したところ申請数は斑鳩町7件・三郷町1件（8月から実施）とまだ少ない状況。広陵町は全額町負担なので単独事業は見送り今後の国や県の動向を注視していく。



ちぎた しんや
千北 慎也

公共施設
**公共施設相互利
用の課題と今後
のビジョンは**

問 参加自治体の市民・町民が他の自治体の公共施設を同条件で利用できるようにする、公共施設相互利用の実証実験が開始される。予約システムには奈良県の「e古都なら」を利用すると聞くが、課題が多いのではないか。また、自治体の範囲にとらわれず、近くの公共施設を利用できることは住民サービスの向上につながるかと考える。実証実験の結果を踏まえて、今後どのように共同利用や公共施設の整理を進めていくのか。修繕費用や建替え費用も課題にな

ると思うがどのように考えていくのか。

理事者

実証実験の前に対象の公共施設の利用者向けアンケートで、実態として市外・町外の利用者が3分の1程度いることが分かった。「e古都なら」の使用には課題が多く、今回の実証実験では最後は施設に向いての予約となる。実証実験の終了後は、結果を踏まえて公共施設の本格的な広域連携の方策を検討する。将来的には施設の共同管理や共同設置も議論したい。

学校給食
**オーガニックビ
レッジで給食の
充実を**

問 農水省から、地域ぐるみで有機農業へ取り組んでいるオーガニックビレッジを応援する交付金が出ている。この交付金を活用すれば、給食に有機食材を試験的に導入するための諸経費が対象になるので活用してはどうか。また、特定農業振興ゾーンも整備されたということで、今後の広陵町の農業に関する競争戦略はどのように考えているか。

理事者

町内だけで給食に必要な数量の有機食材を調達すること

はなかなか難しいが、学校を絞って実施したり、広域での調達などを検討したい。ちなみに、この10月に宇陀産の有機食材を給食で提供する予定をしている。今後の競争戦略は、ブランド作物や高収益作物、オーガニック作物の生産が理想であるが、まずは、先進地の調査等も含めて検討する。

水道一体化

水道事業の企業
統合案の周知を

問 県域水道事業の統合について、議会には随時報告されているが、町民にはある日突然決まったという戸惑いがある。町として広報誌を利用し、現在までのプロセス、町民へのメリット、今後の展望等、分かり易く特集として掲載いただけないか。

町長

水道事業の将来を見据え、人口減少や節水技術の向上により水需要が減少するため、稼働率は低下の一途をたどる。このため、平成30年に水道法が

改正され、都道府県単位での水道事業の広域化により、基盤強化に努めなければならないとされている。県の状況については、事業統合に慎重な奈良市に対し、水道一体化論点検討部会が設置され、私も参加している。第3回部会で、岩手県企業団の参与をされている菊池氏を招き、ご意見をいただいた。老朽化管路更新には多額の財源が必要となるが、料金を抑えるにはダウンサイジングによる施設規模の最適化しかなく、広域化は強力な手段であるとおっしゃっておられた。本町では、議員の皆様が勉強会を3回開催していただくなど、熟議を深めていただいているので、今後も随時情報提供させていただきます。

しかしながら、議員からのご提案のとおり、今後、町ホームページや広報誌を活用して分かり易く紹介し、水道事業統合について町民の皆様と熟議出来るようにしてまいります。

問 統合には反対していません。企業団のやり方が間違っているから色々提言している。県水は元売りで、町は小売りである。元売りが小売りもしたいと一方的に町に廃業を迫っている。一般企業ではあり得ない。健全経営出来ない市町村水道を立て直してから対等統合すべきであると言っている。何故、同時統合が決定事項なのか理解できない。現在、上下水道の値上げを先送りしているが、剰余

金を出している水道を手放せばいくらの値上げになるのか。

理事者

本来の水道収支は赤字経営である。営業外収入により黒字となっていることを理解願いたい。企業団に対し、基金22億円は管路更新に使わせて欲しいとお願している。



よしひろ 坂野 佳宏



やまむら みさこ
山村 美咲子

女性支援
困難を抱える女性たちへの支援について

問 今年5月、「女性支援法」が成立した。女性たちは、家族からの暴力、離婚、貧困、孤立した子育てなど様々な困難を抱えている。2年後の令和6年4月の施行までに、実効性のある基本計画や施策を作ることで、女性支援相談員の市町村への配置を含む体制を整え、予算を組むことなど課題は多く、これからがまさに正念場だ。広陵町の取り組みを聞く。

理事者

アンケート調査の結果を踏まえ、広陵町男女共同参画行動

計画への施策を検討する。必要な支援等について、県の相談窓口や専門性のある民間機関などへの迅速な連携を含め、実効性のある施策を検討していく。

地域猫
「地域猫活動」への理解促進・支援の充実を

問 広陵町ではTNR事業を実施しているが、実績と課題について伺う。

ふるさと納税を活用して、野良猫の避妊・去勢手術の費用を全額負担する取り組みを広陵町でも実施してはどうか。

「地域猫活動」への理解促進のため、町民フォーラムの開催、広報やホームページなどで周知・啓発を行うてはどうか。

町長

令和2年度24頭、令和3年度5頭の手術を実施。なかなか地域の協力を得られない現状である。ふるさと納税の活用は検討している。町広報誌等で周知していく。

TNR事業とは
飼い主のいない猫に対しTrap/捕獲し、Neuter/不妊去勢手術を行い、Return/元の場所に戻す(その印として耳先をさくらの花びらのようにV字カットする)を実施することで、殺処分の減少に寄与する活動。

公共交通

広陵町Maas構築について

問 さまざまな交通移動手段を提供する仕組み「Maas（マース）」が注目されている。利用者予約に対しリアルタイムに最適配車を行う「AIオンデマンド交通」について、広陵町の具体的な取り組みについて聞く。

町長

令和5年度からの新たな地域公共交通ネットワーク構築にあたり、AIオンデマンド交通や予約及び事前決済システム等の導入も視野に入れ検討していく。



あおき よしかつ
青木 義勝

防災避難所 農業研修センター を避難所併設の 施設に

問 広瀬区から新たに避難施設を要望している。その理由として、当地区は避難所がなく、水害時はさわやかホールに避難とあるが高齢者が多く、増水した葛城川を渡つての避難は危険で困難なので、施設の早期実現に向けた地元協議の可能な素案策定が肝要で、同時に地域振興の拠点となるコミュニティ施設併設も要望である。以下質問する。
①回答後、8か月も経過している。役員さんの任期もあるので、早急な内部協議の現況は。

②早期実現の概略スケジュールを示すべき。

町長

防災避難施設を設置すると回答済である。

①早急に関係部署と協議して、地元役員のご意向を聞く用意もする。

②詳細は未定だが、次年度に基本設計予算を計上して、皆様が集えるコミュニティ施設を併設した防災避難施設を私の任期中には完成させたい。

道路整備 県道桜井田原本王 寺線の早期整備を 県に要望

問 県道桜井田原本王寺線を

西へT字交差点から未着手の寺戸地域を通り、完成済の馬見丘陵公園北エリア入口の道路に接続させる。未着手区間は2点の理由で県に着手を求め、本町も着手可能な整備をする。

①給油所のT字交差点と大野のローソン前の五差路の慢性的な渋滞の解消。

②県立公園に接するので、相乗効果が出る。特定農業振興ゾーンの寺戸地域のいちごの産地化と観光の推進となる。企業立地の経済波及効果で、町と地域が活性化するので、県に強い要望を求める。

理事者

①渋滞と事故の減少には未着手区間の整備が不可欠である。本町も事業に全面協力して県に強く要望する。

②特に、未着手区間の周辺は地域産業立地地区で、企業立地に適地であり、また質問で指摘のゾーンであり、いちごの栽培も拡大している。地域のポテンシャルを最大限活用するために未着手区間の整備は重要である。県に強く着手を要望する。

委員会の窓

総務文教委員会

議案第63号 広陵町災害対策本部条例の一部を改正することについて

質問 役場のBCP、職員の初動マニュアル、受援計画や避難所運営の整備はできているのか。

回答 BCP、職員の初動マニュアル等は、現状ほぼできているが精査中である。11月頃にパブリックコメント、12月に防災会議で協議をいただく。

全員一致で可決すべきものと決しました。

議案第64号

職員の育児休業等に関する条例の一部を改正することについて

質問 職員の休業に伴い、住民サービスに影響があれば反感を買う可能性もある。全体のマイナスにならないような体制として、ど

のような対策をもっているのか。

回答 休業の年数が延びると人員が不足することもあるため、任期付職員や会計年度任用職員を採用することと対応できている。

全員一致で可決すべきものと決しました。

議案第65号 広陵町税条例等の一部を改正することについて

質問 この改正で、国保の算定や70歳以上の自己負担割合の判定に影響が出ると思うが、どのくらいの影響があるか。

回答 令和4年度で確定申告をして住民税を申告していない配当所得を調べると4,000万円近くの所得があった。これを町民税の所得割率から、町民税の配当控除率を引いて算定した結果、税額50万円前後の増収になると見込んでいる。

全員一致で可決すべきものと決しました。

議案第67号 広陵町立体育館の設置及び管理に関する条例の一部を改正することについて

質問 真美ヶ丘体育館の和室だけ有料になった経過について、どのように考えているのか。

回答 真美ヶ丘体育館については、和室、会議室とも施設ができ、それぞれ個別に貸すことができる。それ以外のミニ体育館は鍵がなく、アリーナと同時に和室も使用されるといふ貸し方がほとんどである。個別に鍵が掛かり、個別に使用者が申込みできるというところを料金でいただくことになった。

賛成多数で可決すべきものと決しました。

施設名	室名	1時間につき
広陵中央体育館	会議室	200円
	格技場	500円
	卓球室	1台200円
	アリーナ片面	600円
	アリーナ全面	1,200円
広陵東体育館	和室	0円
	アリーナ	600円
広陵西体育館	和室	0円
	アリーナ	600円
広陵北体育館	和室	0円
	アリーナ	600円
真美ヶ丘体育館	会議室	200円
	和室	150円
	アリーナ	600円

第3回定例会（9月議会）に上程され、総務文教委員会・厚生建設委員会に付託された9件について審査を行いました。その結果は本議会に上程され採決されます。その主な内容と結果をお知らせします。

議案第69号

令和4年度
広陵町一般会計補正予算
(第7号)

質問 新型コロナウイルスワクチン接種事業費のタクシー借上料とは、ワクチン接種会場までのタクシー送迎のことだと思いが、PCR検査等を受けるために、車のない独居老人等が移動手段を確保できる支援はあるか。

回答 ワクチン接種会場までの送迎を必要とされる方の借上料である。病院受診の場合、要介護者等は福祉タクシーを利用されていたが、一般家庭については、通常のタクシーや家族が送迎することになっており、受診のためにタクシーを出すというところまでは考えていなかった。

全員一致で可決すべき
ものと決しました。

厚生建設委員会

議案第66号

広陵町立学校設置条例の一部を改正することについて

質問 こども園開園による西幼稚園、西第二幼稚園の職員、園長の配置計画はどうなるのか。

回答 今後、園長会で協議、検討しその結果を踏まえて調整していく。

質問 西幼稚園の園舎をどのように活用するのか。

回答 建物を残したまま活用できるよう、民間を交えてこども局、総合政策課で協議を行い検討している。

全員一致で可決すべき
ものと決しました。

議案第70号

令和4年度
広陵町水道事業会計補正予算(第2号)

質問 現在、民間委託して

いるが何名の技術者がいて、どこからきているのか。また、どのような業務に携わっているのか、安全に業務が遂行できているのか。

回答 昨年(株)オオバから1名、今年からサンコーコンサルタント(株)から1名、技術支援としてきてもらっている。主に設計、積算業務を担当している。全体的な業務は町の職員が行っている。民間委託会社などには、技術支援を行ってもらい、町職員の水道事業の技術継承を担っている。

全員一致で可決すべき
ものと決しました。

議会の傍聴にお越しく下さい!

新型コロナウイルス感染防止対策を実施しております。
マスク着用のうえ、手指消毒と検温にご協力をお願いします。

町議会本会議は、役場3階の議場で、3月、6月、9月、12月の年4回開かれます。次回は12月に開かれます。日程については、議会事務局までお問い合わせください。ホームページにも記載予定です。



議会日誌



- 8月
 - 2日 国保中央病院組合議会
 - 23日 全員協議会
- 9月
 - 6日 第3回定例会(初日)
 - 9日 第3回定例会(2日目)
 - 12日 第3回定例会(3日目)
 - 13日 第3回定例会(4日目)
 - 14日 総務文教委員会
 - 厚生建設委員会
 - 16・20日 決算審査特別委員会
 - 26日 議会運営委員会
 - 第3回定例会(最終日)
 - 議員懇談会
- 10月
 - 30日 第1回広報編集委員会
 - 11日 第2回広報編集委員会
 - 12日 北葛城郡・生駒郡議員研修会
 - 18日 第3回広報編集委員会
 - 24日 全員協議会
 - 議会運営委員会
 - 第7回臨時議会
 - 総務文教委員会
 - 議員懇談会
- 25日 議会運営委員会
- 30日 常任委員長会
- 議員懇談会

広陵北小学校運動会



議会からのお願い

議会だより取材のため、腕章を着用した議員または事務局員が写真撮影に伺うことがございます。その際は、どうかご理解とご協力をお願いいたします。

編集後記



朝晩の寒さもめっきり厳しくなり、近年では晩夏から初冬へと秋を感じさせる期間が、少なくなったように思います。

秋にもいろいろありますが、観光庁は10月11日から全国旅行支援を始め、遠方への旅行を促進しています。足を伸ばして旬の味覚を満喫するのも良いでしょう。

広陵町立図書館が25周年を迎え、さまざまなイベントが開催されました。日頃、本に馴染みのない方も秋の夜長に是非読書をお勧めします。

また、11月20日には第1回のスポーツフェスティバルが行われます。スポーツの秋に親しみ、軽スポーツを楽しむことで健康づくりにもつながると思います。家族で挑戦されてはいかがでしょうか。

議会におきましては、民生・児童委員や畿央大学の学生と意見交換会を計画しております。福祉やまちづくりについて話し合いますので、あらためて結果報告をいたします。

新型コロナウイルス感染症も少し落ち着きを見せていますが、健康第一に日々を過ごしてまいります。



- 広報編集委員会
- 委員長 山村 美咲子
 - 副委員長 山田 美津代
 - 委員 堀川 季延
 - 委員 千北 慎也
 - 委員 岡本 晃隆
 - 委員 岡橋 庄次

この広報は、有害な排水を出さない「水なし印刷」を採用しています。SDGsの掲げる17の項目に対して、8つの項目で具体的な貢献をします。



広陵町ホームページ
<http://www.town.koryo.nara.jp>

